

平成23年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

平成24年11月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

◆ はじめに

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。

評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評価	評価の基準
評価 A	計画、目標数値を大きく上回った
評価 B	計画、目標数値をほぼ達成した
評価 C	計画、目標数値をやや下回った
評価 D	計画、目標数値を大きく下回った

1. 全体評価

坂井市立三国病院は平成21年3月に改革プランを策定し、その達成を進めるためとして経営効率化の数値目標を定めて具体的な取組みを進めてきた。

その結果、【表1】のとおり平成23年度は改革プラン目標値を下回った項目数が上回った項目数より多いので、全体としては目標数値をやや下回ったと評価される。今後一層の努力を求めるものである。

2. 個別評価

財務数値の達成状況については、6項目中2項目を評価B、4項目を評価Cとした。収入の確保については、5項目中2項目を評価B、3項目を評価Cとした。支出の削減・抑制については、3項目中1項目を評価B、2項目を評価Cとした。

【表1】
市立三国病院改革プラン評価表(経営効率化指標総括表)

1. 財務数値の達成状況

(1) 減価償却費・繰延勘定償却を含む場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成23年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	89.0	95.6以上	96.0	B	B
医業収支比率(90.6以上) (%)	90.6	92.5以上	89.0	C	C
職員給与費比率(59.1以下) (%)	52.9	53.7以下	54.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.7	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.8	9.0以下	8.9	B	B
病床利用率(74.8以上) (%)	73.8	79.8以上	70.5	C	C

(2) 減価償却費・繰延勘定償却を除く場合

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度 実績	平成23年度		病院自己評価	評価委員会評価
		目標値	実績		
経常収支比率(99.4以上) (%)	102.3	104.9以上	105.2	B	B
医業収支比率(90.6以上) (%)	99.4	101.6以上	97.6	C	C
職員給与費比率(59.1以下) (%)	52.9	53.7以下	54.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.7	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.8	9.0以下	8.9	B	B
病床利用率(74.8以上) (%)	73.8	79.8以上	70.5	C	C

2. 収入の確保

財務数値目標項目	前年度実績	平成23年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
1日当たり入院患者数 (※1) (人)	77.5	80.0	74.0	C	C
1人1日当たり入院診療単価 (※2) (円)	31,505	31,700	32,175	B	B
病床利用率(対105床) (※3) (%)	73.8	79.8	70.5	C	C
1日当たり外来患者数 (人)	304.1	300.0	297.4	C	C
1人当たり外来診療単価 (円)	7,400	7,400	7,476	B	B

(※1) 1日当たり入院患者数＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷年間日数

(※2) 1人1日当たり入院診療単価＝入院収益÷(在院年患者数＋退院年患者数)

(※3) 病床利用率＝(在院年患者数＋退院年患者数)÷105床

3. 支出の削減・抑制

財務数値目標 (総務省が提示した参考目標値)	前年度実績	平成23年度		病院自己評価	評価委員会評価
		計画値	実績		
職員給与費比率(59.1以下) (%)	52.9	53.7以下	54.4	C	C
材料費比率(24.6以下) (%)	18.7	17.9以下	18.6	C	C
(うち薬品費比率)(14.8以下) (%)	8.8	9.0以下	8.9	B	B

【表2】

市立三国病院改革プランの具体的取組状況

1. 民間的経営手法の導入

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
調理部門の委託	平成22年4月から献立・食材料発注を除く調理部門の委託を実施した。委託により調理師の安定的人員確保が可能となった。(災害時において病院給食の優先提供内容とする契約)	献立、食材料を除く調理部門の委託を継続的实施を推進する。(継続)

2. 事業規模・形態の見直し

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
現診療体制の維持 (地方公営企業の一部適用維持)	非常勤診療科の常勤医師確保のため、大学医局や県への医師派遣を要請した。平成24年4月より、内科医師1名採用 (脳神経外科、麻酔科、放射線科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科の各大学医局への要請)	当院に限らず、地域医療機関の医師不足は全国的な問題となっているが、引き続き各大学医局への要請(継続)

3. 経費削減・抑制対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
委託業務契約の見直し	長期継続委託業務契約の点検・見直しを図った。	電子カルテや医用画像システム等の医療情報システム更新に際して、その保守料の削減を図る。
薬品価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託して、22年度で12%の削減を図り、23年度も前年度同様に12%の継続的削減を図った。	全国自治体病院協議会による医薬品や医療材料の共同購入事業を引き続き要請する。
医療材料価格の削減	コンサルタント会社に購買監査を委託した結果、高額な材料が少なく、また適正価格の品数が全体の90%程度であり適正であるとの評価を得て、この水準の維持に努めた。	
医療機器購入検討委員会の設置	医療機器購入検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図った。	継続して検討委員会を開催し、機器購入の厳選を図る。
事務局職員の会計間人事交流による人件費抑制	事務局職員人件費額を著しく削減する内容の会計間人事異動ではなかった。	今後も人事担当課に協力要請を図る。

4. 収入増加・確保対策

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
看護配置体制10対1の維持	<ul style="list-style-type: none"> * 平成20年6月から看護配置体制10対1を実施継続し、入院基本料10対1の維持に努めた。 * 看護師・助産師・准看護師の正職員数は前年度との比較で3人増となった。 	看護師の不足は依然として続いており、看護職員の随時募集するなど看護師の安定的確保を図る。
人間ドック・健診等の拡充	日帰りドック及び健診受入日の増設に努めた結果、人間ドック契約健康組合等数の増加や妊婦検診などの制度改正も加わり、受託検査収益や公衆衛生活動収益が増加した。	人間ドック・健診事業の継続的实施を図る。
ベッドコントロールによる病床利用率の向上	平成23年4月に医療ソーシャルワーカーを2名採用した。平均在院日数が短縮し、16～17日で推移している。入院患者数の減少により、病床利用率は低下した。	引き続き、適正な退院調整等を行い、平均在院日数の短縮、病床利用率の向上を図る。
診療報酬等研修会	平成24年4月の診療報酬改定に伴い、全職員を対象に研修会を開催した。	今後も診療報酬が改定される際は研修会を開催し、情報の共有化を図る。

5. その他

項目	取組実績・成果等	課題・改善案等
職員の資質向上	職員の専門性や知識の向上を図るため、各種院内研修を全体及び職種別に実施し、学会等への積極的参加を促し、多くの職員が参加した。	引き続き、研修の開催、学会等への参加を促す。
地域医療連携の環境整備	平成23年度より地域医療連携係を地域医療連携室に転換し、医療ソーシャルワーカーを2名配置し地域医療連携の充実を図った。	看護師が兼任で対応しているが、人員を確保し充実した体制を整え、地域医療連携の充実を図る。
医師及び看護師の負担軽減	医療ソーシャルワーカーの採用及び臨床検査技師による超音波診断検査実施により、医師及び看護師の継続的負担軽減を図った。	引き続き、医師及び看護師の継続的負担軽減を図る。

3. 評価委員の主な意見

- 医師不足解消は全国的課題であるが、今後も引き続き大学医局や福井県に医師派遣の要請を継続的に実施していくことが重要であり、非常勤の診療科目の医師を確保することにより、紹介しやすくなる。
- 看護師・助産師不足は大きな課題であり、広報活動や募集方法等の見直しにより積極的に確保を図っていくことが必要である
- 地域医療連携体制の確立及び医療ソーシャルワーカーの採用により、患者の抱える経済的、心理的・社会的問題の解決や支援などの医療環境の整備に努めていくことは重要である。
- 医療材料費や薬品費などの削減努力は認めるが、全国レベルでの共同購入を促進していくことは重要である。

【決算資料】

坂井市立三国病院経営データ

1. 職員の状況

【単位：人】

職種	平成22年3月31日現在		平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在		平成24年4月1日現在	
	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員	正職員	臨時職員
医師	11	17	11	17	11	18	12	17
薬剤師	5		4	1	4	1	4	
放射線技師	3		4		3		3	
臨床検査技師	4	1	5	3	6		4	
管理栄養士	1		1		1		1	
栄養士		1		1		1		1
理学療法士	1		1		1		2	
作業療法士	1		1		1		1	
言語聴覚士		1	1		1		1	
臨床工学技士								
視能訓練士	1		1		1		1	
看護師・助産師	53	7	53	9	55	9	55	9
准看護師	9	2	8	4	9	2	7	3
事務職員	6	7	6	9	6	9	7	8
オペレーター		1		1		1		
医療ソーシャルワーカー					2		2	
看護助手	3	12	3	13	3	13	3	12
調理師	3	2						
調理師助手		9						
用務員	1		1		1		1	1
雑仕婦		2		2		2		2
合計	102	62	100	60	105	56	104	53

2. 医師の状況

【単位：人】

職種	平成22年3月31日現在		平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在		平成24年4月1日現在	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	3		3		3		4	
(循環器科)		3		3		3		2
(腎臓内科)		1		1		1		1
(呼吸器科)		1		1		1		1
(内分泌代謝科)		2		2		1		
小児科	1	1	1	1	1	1	1	1
外科	3		3		3		3	
整形外科	2		2		2		2	
脳神経外科		2		2		2		2
皮膚科		2		2		2		2
泌尿器科		2		2		3		2
産婦人科	1		1		1		1	
眼科	1		1		1		1	
耳鼻咽喉科		3		3		4		3
放射線科		3		3		3		3
合計	11	20	11	20	11	21	12	17

3. 診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成22年度決算(A)		平成23年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内 科		13,932	396,605	12,960	389,905	△ 972	△ 6,700
外 科		3,875	156,595	4,197	156,660	322	65
小 児 科		896	29,725	792	24,329	△ 104	△ 5,396
産 婦 人 科		1,777	95,429	2,012	111,560	235	16,131
整 形 外 科		5,741	182,958	5,181	164,489	△ 560	△ 18,469
脳 神 経 外 科		72	1,404	26	583	△ 46	△ 821
眼 科		317	28,095	338	27,863	21	△ 232
泌 尿 器 科		78	2,637	0	0	△ 78	△ 2,637
合 計		26,688	893,448	25,506	875,389	△ 1,182	△ 18,059

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

4. 診療科別収益状況(外来) <消費税込>

【単位:人、千円】

診療科	年度	平成22年度決算(A)		平成23年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内 科		25,028	193,724	25,418	201,173	390	7,449
透 析 内 科		5,660	175,002	5,532	172,325	△ 128	△ 2,677
外 科		4,271	38,599	4,097	36,902	△ 174	△ 1,697
小 児 科		14,640	49,756	14,085	48,559	△ 555	△ 1,197
産 婦 人 科		7,422	36,354	8,074	38,219	652	1,865
整 形 外 科		11,531	73,622	11,292	71,441	△ 239	△ 2,181
脳 神 経 外 科		1,914	11,596	1,801	10,942	△ 113	△ 654
眼 科		8,214	39,277	7,536	35,855	△ 678	△ 3,422
耳 鼻 咽 喉 科		4,699	17,798	4,342	16,776	△ 357	△ 1,022
皮 膚 科		3,594	10,366	3,212	8,572	△ 382	△ 1,794
泌 尿 器 科		2,125	13,871	2,038	13,863	△ 87	△ 8
合 計		89,098	659,965	87,427	654,627	△ 1,671	△ 5,338

5-1. 平成20～23年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を含む場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項 目	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績) (A)	平成23年度 (計画) (B)	比 較 (A)-(B)
医業収益	1,680,564	1,667,626	1,695,101	1,686,333	1,714,000	△ 27,667
入院収益	903,399	855,156	891,302	871,679	928,000	△ 56,321
外来収益	647,360	678,501	659,367	653,627	650,000	3,627
その他医業収益	129,805	133,969	144,432	161,027	136,000	25,027
(うち一般会計負担金)	68,329	63,102	66,983	76,415	75,000	1,415
医業外収益	148,962	150,515	146,683	228,479	153,000	75,479
(うち一般会計負担金)	138,783	140,697	138,133	219,707	142,000	77,707
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,829,526	1,818,141	1,841,784	1,914,812	1,867,000	47,812
医業費用	1,799,040	1,837,116	1,871,625	1,894,714	1,854,000	40,714
給与費	882,661	913,867	896,720	917,041	921,000	△ 3,959
材料費	310,030	309,401	316,840	313,758	307,000	6,758
(うち薬品費)	146,438	149,217	149,554	151,939	154,000	△ 2,061
経費	425,602	436,745	486,890	492,875	454,000	38,875
減価償却費	176,482	172,935	167,098	167,394	167,000	394
その他医業費用	4,265	4,168	4,077	3,646	5,000	△ 1,354
医業外費用	204,707	201,699	196,726	99,866	99,000	866
支払利息	69,017	67,352	65,389	63,350	63,000	350
繰延勘定償却	107,748	106,279	101,646	7,033	7,000	33
その他医業外費用	27,942	28,068	29,691	29,483	29,000	483
経常費用(医業費用+医業外費用)	2,003,747	2,038,815	2,068,351	1,994,580	1,953,000	41,580
経常損益	△ 174,221	△ 220,674	△ 226,567	△ 79,768	△ 86,000	6,232
特別損失	1,023	491	29,072	2,748	2,000	748
純損益	△ 175,244	△ 221,165	△ 255,639	△ 82,516	△ 88,000	5,484

5-2. 平成20～23年度の損益状況・経営指標(減価償却費・繰延勘定償却を除いた場合) <消費税抜>

(単位:千円)

項 目	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績) (A)	平成23年度 (計画) (B)	比 較 (A)-(B)
医業収益	1,680,564	1,667,626	1,695,101	1,686,333	1,714,000	△ 27,667
入院収益	903,399	855,156	891,302	871,679	928,000	△ 56,321
外来収益	647,360	678,501	659,367	653,627	650,000	3,627
その他医業収益	129,805	133,969	144,432	161,027	136,000	25,027
(うち一般会計負担金)	68,329	63,102	66,983	76,415	75,000	1,415
医業外収益	148,962	150,515	146,683	228,479	153,000	75,479
(うち一般会計負担金)	138,783	140,697	138,133	219,707	142,000	77,707
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,829,526	1,818,141	1,841,784	1,914,812	1,867,000	47,812
医業費用	1,622,558	1,664,181	1,704,527	1,727,320	1,687,000	40,320
給与費	882,661	913,867	896,720	917,041	921,000	△ 3,959
材料費	310,030	309,401	316,840	313,758	307,000	6,758
(うち薬品費)	146,438	149,217	149,554	151,939	154,000	△ 2,061
経費	425,602	436,745	486,890	492,875	454,000	38,875
減価償却費						
その他医業費用	4,265	4,168	4,077	3,646	5,000	△ 1,354
医業外費用	96,959	95,420	95,080	92,833	92,000	833
支払利息	69,017	67,352	65,389	63,350	63,000	350
繰延勘定償却						
その他医業外費用	27,942	28,068	29,691	29,483	29,000	483
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,719,517	1,759,601	1,799,607	1,820,153	1,779,000	41,153
経常損益	110,009	58,540	42,177	94,659	88,000	6,659
特別損失	1,023	491	29,072	2,748	2,000	748
純損益	108,986	58,049	13,105	91,911	86,000	5,911

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	田 中 千 賀 子	坂井市議会 生活福祉常任委員会 委員長
委員	越 野 雄 祐	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	三 宅 小 百 合	三国自治区地域協議会代表
〃	廣 瀬 和 郎	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
平成24年11月29日(木)	委員長の選出 平成23年度改革プランの点検・評価について